

政策	63 観光レクリエーションの振興							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	余地有		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	観光客							
施策が目指す姿	地域を支える活性化策の一つとして多様なニーズを充実する総合的な観光地づくりが推進し、業種を越えた連携強化により観光地としての新たな付加価値の創造を図る。							
成果指標	観光客入込数 現状値510万人 H29年度目標値560万人							
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [人/年]	予定	5,100,000.00	5,225,000.00	5,350,000.00	5,475,000.00	5,600,000.00	▲
		実績	3,952,008.00	5,632,285.00	5,660,377.00	5,656,693.00	5,600,135.00	
	成果指標2 []	予定						▲
		実績						
	成果指標3 []	予定						▲
		実績						
	成果指標4 []	予定						▲
実績								
トータルコスト (千円)	予定	348,147	357,071	358,222	353,162	408,758	▲	
	実績	350,478	403,835	387,437	398,665	684,505		
内部評価	貢献度	基本方針を実現するためには、総合的な観光地づくりの推進や付加価値の創造を図り、観光地としての魅力を向上させることが重要であるため、各単位施策の貢献度は高い。						
	達成状況	本市を訪れる観光客入込数は目標指数を達成しているが、天候等の状況があるものの、前年と比べると減少した。						
	課題	実施した事業の検証、アンケート等の実施、関係機関との連携を図り、国内外の観光客のニーズを的確に捉え、事業を実施していく必要がある。						
	取組方針	観光基本計画に位置付けた施策を着実に実現し、関係機関や地域と連携し、新規来訪客及び再訪客の増加を図る。						
外部評価	本施策の成果指標である観光客入込数は概ね順調に推移しており、下位の単位施策や事務事業の取組みの成果と評価できる。 下位の単位施策でも指摘したとおり、イベントや祭りへの対応に追われるだけでなく、観光客のニーズ調査や資源の活用方法の検討、新たな付加価値の創造について、取組むことが重要であり、予算面や人員面での制約があることは理解できるが、創意工夫により取組まれることを期待したい。							
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	6302	観光ネットワークの形成				50,683	100	
	6303	新たな付加価値の創造				189,238	99	
	6301	魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成				444,584	93	

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	63 観光レクリエーションの振興		
区分	妥当性	妥当	魅力ある観光地づくりの推進においては、関係者や観光資源の連携が重要であり、各種事業の実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施における効果を検証することでコストの再確認を行い、適正な執行に努める必要がある。
	受益者負担	適正	一部負担による事業実施のほか、パンフレットの種類によっては、広告掲載による料金収入などを研究する余地はある。
	上位貢献度	有効	「観光客入込数」向上のための貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他の類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	観光基本計画に位置付けた施策の実現により、成果向上の余地はある。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	基本方針の「いきいきと働き賑わいのあるまちづくり」を実現するためには、総合的な観光地づくりの推進や付加価値の創造を図り、観光地としての魅力を向上させることが重要であるため、各単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	本市を訪れる観光客入込数は、目標指数を達成しており、昨年と比較するとほぼ横ばい状態であるが、若干減少した。	
	課題	実施した事業の検証、アンケート等の実施、関係機関との連携を図り、国内外の観光客のニーズを的確に捉え、事業を実施していく必要がある。	
	取組方針	観光基本計画に位置付けた施策を着実に実現し、関係機関との連携を図り、観光客満足度を向上させることで、新規来訪客及び再訪客の増加を図る。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	基本方針の「いきいきと働き賑わいのあるまちづくり」を実現するためには、総合的な観光地づくりの推進や付加価値の創造を図り、観光地としての魅力を向上させることが重要であるため、各単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	本市を訪れる観光客入込数は平成26年度以降、目標指数を達成しているが、その後数値の伸びは、ほぼ横ばい状態が続いている。	
	課題	継続的な観光客の増加を図るためには、国内旅行者はもちろんのこと、近年急増している外国人旅行者の誘客強化も重要であり、それぞれのニーズに応えた魅力的な観光地づくりを推進する必要がある。	
	取組方針	観光基本計画に位置付けた施策を着実に実現し、観光客満足度を向上させることで、新規来訪客及び再訪客の増加を図る。	